

# 令和6年度 進路だより わくわくワーク

## 第5号

令和7年3月7日  
富山県立しらとり支援学校  
進路支援部

### 「進路選択に向けて」

教頭 井内 千絵

今年も卒業の季節となりました。高等部3年生は、就業体験を重ねることで働くことや事業所での過ごし方を体験し、自分の課題を克服しようと努力したりその事業所で気持ちよく過ごせるかを考えたりして、自分で進路を決められました。卒業生の皆様のご活躍を応援しています。

また、在校生の皆さんには、自分に合った進路先が見つけられるように、これからもお手伝いをしていきたいと思います。小学部・中学部のころから進路に関する情報を集め、卒業後の生活をイメージするとよい、と事業所の方からも言われます。本校のHPから障害福祉サービス事業所ガイドブックを見ることができます。また、本校ランチルーム横には障害福祉事業所パンフレットコーナーがありますので、来校された際は、ぜひご活用ください。

今年度もご協力ありがとうございました。

## 「インターンシップ推進委員会」(1月15日(水)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援に向け、企業や障害福祉関係者などの校外の専門の委員を交えて意見交換を行う委員会です。

委員会では、学校から本校の進路支援の取組や卒業生のアフターケアの状況、高等部就業体験、進路選択における課題などについて報告し、委員の皆さんと意見交換を行いました。各委員からいただいた意見を一部紹介します。

### ○障害福祉サービス事業所（A型・B型・生活介護）の受け入れの現状について

- ・4月の報酬改定に伴い、就労継続支援A型事業所で求められる力が一般就労と変わらなくなってきていると感じる。
- ・就労継続支援A型事業所から就労継続支援B型事業所に形態を変更した事業所の中には、B型でも本人の仕事内容や仕事量に応じて工賃を支払う形にし、利用者の中には時給にすると最低賃金程度の工賃を受け取っている人もいる。
- ・強度行動障害を併せもつ重度の知的障害の方が通う生活介護事業所が不足していることが大きな課題となっている。生活介護事業所の空きを把握する窓口の必要性や、受け入れの仕組みの整理、チームで支援をしていくための人材育成などを行政等に訴えていかななくてはいけないと感じている。

## ○進路選択や卒業後の生活において大切なこと

- 挨拶や勤怠の安定などの基本的なことに加えて、自己理解ができていることが大切である。
- 家庭や支援者などによく相談して決めることが大切。相談してよかったという体験を積み重ねることで、困ったときに相談するというスキルを身に付けることができる。
- お金をうまく使うための教育をしてほしい。貯めて使うこと、働いた対価で欲しいものを買う経験を積んでおいてほしい。
- 仕事でストレスがたまることは仕方がない。正しいストレス発散方法を身に付けておくためにも、余暇の過ごし方が大切である。

## 「高等部3年生 進路先の状況」

卒業生の門出をお祝いします。高等部3年生の進路先についてお知らせします。在校生の皆さん、保護者の皆様は、今後の進路選択の参考にしてください。

### 【就労継続支援 A 型事業所】

株式会社 Green かたかごの里

### 【就労継続支援 B 型事業所】

クリエイティブ株式会社 ほまれの家富山東店

合同会社ミライのタネ ALSIA 富山

特定非営利活動法人プラスワン 就労継続支援 B 型えみふる

一般社団法人 eikisocialwork 就労継続支援 コラーレ富山

CareerONE 株式会社 すまいる・きゃりあ

特定非営利活動法人きずな きずな

社会福祉法人めひの野園 ウォーム・ワークやぶなみ

一般社団法人みなみとやま福祉会 わくや

特定非営利活動法人ワークハウス 劔 ワークハウス 劔

### 【自立訓練事業所】

特定非営利活動法人クラシース 多機能型きらり夢工房

### 【生活介護事業所】

社会福祉法人白皇山保護園 つばさの郷

社会福祉法人白皇山保護園 ひまわりの郷

社会福祉法人恵風会 多機能型事業所このみ

特定非営利活動法人ぴーなっつ ぴーなっつ

ユノ・ホープ株式会社 じゅの一

